

# 傷ついた葦を折らず

～心の時代の福音～

2023/1/1

新年礼拝

# マタイ福音書12章15～21節

イエスはそれを知って、そこを立ち去られた。大勢の群衆が従った。イエスは皆の病気をいやして、御自分のことを言いふらさないようにと戒められた。それは、預言者イザヤを通して言われていたことが実現するためであった。

「見よ、わたしの選んだ僕。  
わたしの心に適った愛する者。  
この僕にわたしの霊を授ける。  
彼は異邦人に正義を知らせる。  
彼は争わず、叫ばず、  
その声を聞く者は大通りにはいない。  
正義を勝利に導くまで、  
彼は傷ついた葦を折らず、  
くすぶる灯心を消さない。  
異邦人は彼の名に望みをかける。」

# ご自分を隠されるイエス様

## •ファリサイ派との対立(12章)

- 安息日論争: 麦の穂を摘む・いやし
- ファリサイ派はイエス様を殺そうと相談する

## •ご自分を隠そうとされるイエス様

- イエス様は「そこを立ち去られた」(人のいない所に行こうとされた)が、「大勢の群衆が従った」
- 「皆の病気をいやし」
- そして、「御自分のことを言いふらさないようにと戒められた」
- なぜそうされたのだろうか？

# イザヤ書の預言が成就する

- マタイによる解説

- イザヤ書42:1～4節の成就である

- 主なる神の代わりに遣わされた「僕」

- 「わたしの心に適った愛する者」

- 「この僕にわたしの霊を授ける」

- イエスのする事は神のなさる事である

- 「僕」は「異邦人に正義を知らせる」

- ユダヤ人だけではなく異邦人にも

- 世界の民に本当の(神の)正義を告げ知らせることが僕の役目である

# 神の正義を世界に知らせるために

彼は争わず、叫ばず、  
その声を聞く者は大通りにはいない。  
正義を勝利に導くまで、  
彼は傷ついた葦を折らず、  
くすぶる灯心を消さない。  
異邦人は彼の名に望みをかける。

# 変わったやり方で正義を知らせる

## •「彼は争わず」

- 正義を広げるためには戦争が行われてきた
- 「正義を勝利に導くまで」とあるが、僕は戦いによる勝利は目指していない

## •「叫ばず」

- 自分の主張を知らせるためには大声で叫ぶことが常套手段 例：選挙
- しかし僕は叫ばない

## •「その声を聞く者は大通りにはいない」

- “大衆”に向かって語らない
- 個人的に伝えられていく

# 弱者への配慮

- 「傷ついた葦を折らず」
  - 葦：水辺に生える細い植物
  - 一度傷つくと折れやすい
  - 傷つきやすい人々のたとえ
  - 彼らへの細心の注意を払う



- ▶ 「くすぶる灯心を消さない」
  - ▶ わずかな風でも消えてしまいそうな炎
  - ▶ 弱い人々のたとえ
  - ▶ 彼らが消し去られないように

# この世の正義の犠牲者たち

- 「傷ついた葦」「くすぶる灯心」とは、実はこの世の正義の犠牲になっている人々
  - この世の正義は強者の味方であり、弱者を踏み潰していく
- しもべはこの世の正義の犠牲者たちに**神の正義**をもたらして下さる
  - しもべの関心は“大衆”にはなく、傷つき弱った人たちに向かう
  - 彼らへのケアこそ最優先される

# だからイエス様は

- イエス様の関心は傷ついた人たちや弱者にあった
  - だからイエス様は病人や差別されていた人々や罪人たちに向かわれた
- 「御自分のことを言いふらさないようにと戒められた」
  - 大衆によって本来の働きが邪魔されないように
  - マジョリティ(多数派／強者)がマイノリティ(少数派／弱者)を生み出さないように

# 神の正義は愛の正義

## • 律法は弱者を守るよう定めている

- 「あなたたちの神、主は神々の中の神、主なる者の中の主、偉大にして勇ましく畏るべき神、人を偏り見ず、賄賂を取ることをせず、孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を愛して食物と衣服を与えられる。」(申命記10:17-18)

## • 神は私たちの代わりに御子を裁かれた

- 「神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである」ヨハネ福音書3:17

# 教会(私たち)の使命

- 神のしもべ(イエス様)の手足となること
- 私たちの関心をどこに向けるべきか？
  - 大衆(多数派)に向かってないだろうか？
- 私たちのまわりには多くの傷ついた人たち、弱い立場の人たちが大勢いる
  - 心を病んでいる人たち・経済的に困窮している人たち・社会的に孤立している人たち…
- 彼らの友となることこそ私たちの使命
  - 「異邦人は彼の名に望みをかける」

# イエス様のやり方で

彼は異邦人に正義を知らせる。

彼は争わず、叫ばず、

その声を聞く者は大通りにはいない。

正義を勝利に導くまで、

彼は傷ついた葦を折らず、

くすぶる灯心を消さない。

異邦人は彼の名に望みをかける。